

追悼 森村誠一さん



昭和8(1933)年1月2日埼玉県生まれ。青山学院大学文学部英米文学科を卒業後、ホテルマンや講師の職に就き、その間「幻の墓」など多くの作品を書き続けた。

昭和44(1969)年「高層の死角」で江戸川乱歩賞を、昭和47(1972)年「腐蝕の構造」で日本推理作家協会賞を受賞。

推理小説、社会小説と幅広いジャンルを執筆し、旧関東軍細菌部隊の実態を扱ったノンフィクション「悪魔の飽食」は大反響を呼び、ベストセラーになった。

昭和51(1976)年に角川小説賞を受賞した「人間の証明」など、映画化、テレビ化された話題作も多い。

令和5(2023)年7月24日死去。享年90歳。

(『新訂 作家・小説家人名事典』より参考)